

# 第四十回 衆議院総選挙候補者推薦決定



平成5年  
7月10日  
号 外

発行所  
広島県歯科医師  
政治連盟  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-4197  
編集兼発行人 青井隆男

## 第一・二回政連常任理事会開催

七月十八日投票の衆議院選挙の推薦候補者決定を主協議とする第一回、二回政連常任理事会がそれぞれ、六月二十五日、七月三日に県歯会館四階会議室において開催され、左記の候補者を決定した。  
二十一世紀に向けての政治の枠組みを左右する重要な選挙であり、各候補者とも総力戦で望んでいる。

## 広歯政連推薦候補者 (順不同敬称略)

一区	二区	三区	一区	二区	三区	一区	二区
岸田文雄	谷川和穂	増岡博之	池田行彦	亀井静香	宮澤喜一	佐藤守良	河井克行
(35)	(62)	(70)	(56)	(56)	(73)	(71)	(30)
△自新▽ 元代議士秘書	△自前▽ 元法相	△自前▽ 党県会長	△自前▽ 元防衛庁長官	△自前▽ 党政調会長代理	△自前▽ 首相	△生前▽ 元国土庁長官	△自新▽ 県議

## 日歯政連推薦候補者

一区	二区
河井克行	中川秀直
(30)	(49)
△自新▽ 県議	△自元▽ 元通産政次官

七月十八日  
投票日  
一人でも多く  
投票へ!!

## 平成五年度 第一回常任理事会開催

平成五年六月二十五日(金)午後六時三十分より、歯科医師会館四階において標記理事会が開催された。

谷広副会長の座長のもと、今田副理事長より「衆議院の解散も決り、政局も混沌としている。大切な時期なので慎重に審議してほしい」と開会の辞があった。後に、長岡会長より「歯科界のかかえる諸問題の解決



熱心に討議する常任理事会風景

- ①日歯政連常任理事会・理事会合同会議、同第三十六回評議員会(三月二十六日)
- ②県歯政連理事会、同第二十三回評議員会(三月二十七日)
- ③自民党県連大会(三月二十七日)
- ④林正夫県議との懇談会(四月二日)
- ⑤岸田文雄君を激励する集い(四月十一日)
- ⑥松山県議会議長を訪問(四月十九日)
- ⑦日歯政連常任理事会・理事会合同会議(四月二十三日)
- ⑧増岡博之衆議院議員を囲む朝食会(五月)

から、又、歯科医療問題の解決に理解を示された一方で、なおかつ自民党推薦の候補者を推薦することを日歯政連は決定した。各県、各支部とも御理解をたまりたい」と報告があった。

⑨宮澤喜一先生を囲む会(五月十六日)

⑩故河村行夫氏県歯会葬(六月二十四日)

⑪日歯政連常任理事会・理事会合同会議(六月二十五日)

続いて協議事項に入り、衆議院議員選挙への対応について、広歯政連候補者の決定については、各支部より候補者の推薦を頂いたのちに再度協議を行う事である。政局の転換時期である由、広歯政連のあり方も将来の諸問題に対応出来るよう、検討を重ねる必要があるとする声が多くあった。最後に、今田副理事長の閉会の辞にて終了した。

## 平成五年度 第二回常任理事会開催

平成五年七月三日(土)午後二時より、歯科医師会館四階会議室において第二回常任理事会が開催された。宝諸副会長の座長のもと、本山副理事長より「推薦候補者決定は大切な問題で

## 激動の衆議院選スタート

衆議院本会議は六月十八日、社会・公明・民社三党戦に突入した。今回の総選挙は今後の政治の流れを左右する極めて重要な意味を持つ。将来に亘っての歯科医療界の発展、成長の為に、推薦候補に強力なご支援、ご協力をお願いしたい。

## 丹羽厚生大臣来会

去る七月六日(火)丹羽

雄哉厚生大臣が地元候補の応援遊説のため広島市入りし途中医師会に立ち寄った。後県歯会館を訪れた。



挨拶する丹羽厚相

「来年は診療報酬改定の年であり、皆さんの要望にこたえられるよう鋭意努力していくつもりである。是非ともなお一層の支援を御願したい」と力強く述べた。

# 投票は最小で最大の政治活動